

梶田隆章博士（WPI 東京大学 カブリ数物連携宇宙研究機構 主任研究者）
によるノーベル物理学賞受賞について

本日、文部科学省が進める世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）の採択拠点である東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構（Kavli IPMU）の主任研究者である梶田隆章博士のノーベル物理学賞受賞が発表されました。

梶田博士及び関係の皆様方に心よりお祝い申し上げます。

現在、東京大学宇宙線研究所所長である梶田隆章博士は、Kavli IPMU が設立された平成 19 年度当初より、Kavli IPMU の主任研究者も務めておられます。今回の受賞は、WPI プログラムによって設立された拠点が、世界的な頭脳循環の環の中で、第一線の研究者が集まる拠点となっていることを示す証左であり、本プログラムを推進してきた我々としても非常に喜ばしく思います。

引き続き、我が国において、世界トップレベル研究拠点が名実ともに着実に確立されていくよう、本プログラムを推し進めるとともに、ノーベル賞受賞をはじめとする素晴らしい研究成果が今後も輩出され、我が国の科学研究を力強く牽引されることを期待しております。

平成 27 年 10 月 7 日
世界トップレベル研究拠点プログラム委員会
委員長
井村 裕夫